
























※記載例を参照の上、ご記入ください。













(様式第3号)

企業・団体名(シンワアドヴァンス株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			雇用、教育、福利厚生など差別しない体制を構築し、経営トップが積極的に関与している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			セクハラ、パワハラ等のハラスメント防止を就業規則に規定し体制を整備している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			長時間労働は正のためノー残業デーの取組、事務所の施錠時間の管理を徹底している。								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	【非該当】		現在、外国人労働者の雇用をしていない。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			安全運転に関する講習等を行い、交通事故ゼロに取り組んでいる。現場に配達の際のヘルメット着用を徹底を実施。			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			健康診断の実施。メンタルヘルにに関する知識を社員同士で共有し、相談が出来る環境を整えている。			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			60歳以降は再雇用制度を整備している、産休、育休、介護休業規定を整備している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			必要な資格について、資格取得制度により全額会社負担にて実施している。				4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			労働基準法に則り対応している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			健康診断の実施。要再検査者に対して、受診の徹底法徳制度を整備している。			3					8									
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			事業所ごとに廃棄物の分別を行い、廃棄物業者に委託し積雪に廃棄している。											11.6	12		14.1			
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			節電、節水に心がけ、総務にて電気使用量、水道使用量、ガソリン使用量を把握している。							7.3					13					
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			排ガス抑制として、HV車の導入をしている。今後HV車へ変更可能な車両より変更していく。社屋に太陽光発電を設置している。LED照明へ順次変更をしていく。							7.2 7.3				12.4	13.3					
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			法で規定されている有害物質の取り扱いはないが、仮にあった場合は、委託業者と相談し、適切に処理を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4					

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			太陽光発電システム導入し、再生可能エネルギーにも配慮している。						6.6									15		
16	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			廃棄物の適正な分別、処理に実施し、再生利用処理を実行している。												13		14.1			
17	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			節水型のトイレの拡販を推進し、水資源の利用効率の改善に取り組んでいる。						6.4 6.6											
18	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	【非該当】		取得していない			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ			SDGs推進宣言後ホームページに掲載予定。												12.6					
20	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ			上田支店、佐久支店に太陽光発電を設置し、再生可能エネルギー利用に取り組んでいる。							7.2						13				
21	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			グリーン製品を利用するように心がけている。												12.2	13	14	15		
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			就業規則に明記し、従業員へ周知している。																16 16.5	
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			就業規則に明記し、社員へ周知している。																16	
24	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			就業規則に会社の重要な秘密事項を不適切に外部に持ち出さないよう社員へ周知している。								8.2 8.3	9								
25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			就業規則に明記し、入社時に機密保持誓約書を個々に結び、個人情報保護の認識をさせている。																16	
26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ			紛争鉱物等は取り扱っていない。今後もし取り扱い予定はない。																16	
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			取引先との対話を通じて人権侵害防止の取組について情報共有している。					5		8		10		12	13	14	15	16	17	
28	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本			「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している。			3					8	9	10							17

						主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
チェック項目		取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 （果などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本		製品の安全性の確保のため、メーカーの仕様書などを確認している。定期的に製品の研修会を開催している。			3.9									12.4					
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本		取引先から定期的に製品に関する品質などの情報の共有を図っている。品質の良いものを速やかに提供できる体制を作っている。								9									
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ		省エネルギー製品、高効率給湯器、エアコン等環境に配慮した製品の販売を積極的に行っている。						6						12	13	14	15		
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ		省エネルギー製品、高効率給湯器、エアコン等環境に配慮した製品の販売を積極的に行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本		地域のイベントに協賛し、地域活性化に貢献している。				4					9		11	12		14	15		17
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ		プロを目指している女子ゴルフ選手並びに地元のジュニアサッカーチームとのスポンサー契約を行い、スポーツを通じて地域活性化、社会貢献活動を行っている。				4						11			14	15		17	
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ		地元企業から備品等を購入するように努めている。								8	9		11	12	13				
36	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本		経営理念、行動指針を社内に掲示し社員に周知している。年頭の経営方針の発表を行い目標を共有している。								8	9								17
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本		就業規則に法令遵守を掲げ社員に周知している。																16	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本		管理本部担当役員が責任者として担当している。																16	
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本		毎月1度各部門の責任者が行う会議の内容を共有し社会的役割を果たすよう努めている。																16	17
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ		管理本部が中心となり毎月行う部門責任者会議、並びに社員との会議においてリスクマネジメントについての知識や情報を共有している。																16	
41		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ		SDGs推進宣言を通じて、社会、環境への貢献を持続的に対応できるよう努力している。																16	
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ		交通事故ゼロ、災害時における情報共有が出来る体制づくりをしている。									9		11		13 13.1				16
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ		事業継承を図るべく後継者候補の育成、幹部候補者の教育を行っている。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定